

協働パイロット事業（H21）企画提案書

団体名：静岡市地球温暖化対策地域協議会

1. 事業の名称

台所から始まるストップ温暖化 II
— 静岡市における廃食油回収・BDF化仕組みのモデル作り事業 —

2. 事業方針（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください）

本会は、平成20年度に同名称の事業を実施し*、市内4地区（北安東、八坂北、高松、有度（スーパー型））で廃食油回収を実施継続し、これまでに560Lを回収した。また、この経験を通じ、有効なノウハウ**を蓄積した。

本年度の方針

- ① 回収地区を、スーパー型を含め、数箇所拡大するよう努力する。
- ② 静岡市、静岡油化㈱と本会の連携を強め、情報の共有による拡大方途、事業展望の共有化を図る。

*：藤本倫子環境保全活動助成基金事業として実施

**：回収はおおむね住民ニーズに適い、地域、スーパーは好意的であり、連合自治会広報紙の活用は威力を発揮した。廃油買取価格低廉のため、古紙回収等とは異なる回収モデルが必要と思われる。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

本会は、この廃食油回収事業が ① 民間の自主活動から、広く市民を巻き込み公的な位置づけになることを期待しており、② 現場で本会ができることをやり、できない部分で行政が得意なところの協力をお願いし、③ できる地区から事業を広げていくことを構想している。

前項、事業方針でも記したように、廃食油回収事業はおおむね住民ニーズに適い、地域、スーパーにも好意的に受け入れられ易い反面、廃油買取価格が低廉であるため、古紙等回収とは異なる回収モデルが必要であり、近い将来、京都市で実施しているような協働事業による推進が必要と考えられる。

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

- ① 前年度開始した4地区の回収作業のフォロー
- ② 本年度開始 スーパー型を含め、数箇所の拡大に努力する。
開始地区の回収作業の実施及びその後のフォロー
- ③ 静岡市、静岡油化㈱と本会の連携を強め、情報の共有による拡大方途、事業展望の共有化を図る。

5. 事業計画

1. 前年度開始した4地区の回収作業の支援

- 1) 北安東：20年度実施地区については、21年度内に町内会単独実施移行を目指す。
- 2) 八坂北：さつき会が実施主体となり回収作業を行うが、多少の本会支援が必要である。
- 3) 高松：町内会が実施主体となり回収作業を行うが、多少の本会支援が必要である。
- 4) 有度：はなみずきネットワーク有度が月1回の回収を行い、本会から1名が支援する。

2. 本年度開始への取り組み

1) スーパー型の事業開始

- (1) 店舗及び実施団体の選定
- (2) 回収開始及び回収作業の支援

2) 地域型回収組織

- (1) 地域団体の選定－1～2団体
- (2) 回収開始及び回収作業の支援

3. 静岡市、静岡油化㈱と本会の連携組織の構築

- 1) 本年度回収事業計画の適正化
- 2) 来年度以降の協働に向けた打ち合わせ

6. スケジュール

7月～2月 前年度開始した4地区の回収作業の支援

- 1) 北安東：20年度実施地区については、21年度内に町内会単独実施移行を完了する。
- 2) 八坂北：連携を図り、一部支援。
- 3) 高松：連携を図り、一部支援。
- 4) 有度：月1回の回収日に、本会から1名が支援する。

7月～2月 本年度開始への取り組み

1) スーパー型の事業開始

- (1) 店舗及び実施団体の選定
- (2) 回収開始及び回収作業の支援

2) 地域型回収組織

- (1) 地域団体の選定－1～2団体
- (2) 回収開始及び回収作業の支援

7月～2月 静岡市、静岡油化㈱と本会の連携組織の構築

- 1) 本年度回収事業計画の適正化
- 2) 来年度以降の協働に向けた打ち合わせ

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

実施体制

総括 高木恵子
企画 佐々木 悠次、小林富二男、大塚真知子、小林義明
会計 藤田 修身
実行委員、 全会員

主要スタッフの経歴

会長 小林 義明 (NPO 法人緑の地球 代表理事)
副会長 高木 恵子 (NPO 法人静岡 RVW 代表理事、環境カウンセラー)
副会長 佐々木 悠次 (地球温暖化対策推進員)
副会長 畑田 響
運営委員 彦山 学 (地球温暖化対策推進員、さつき会代表)
長野 蝶子 (はなみずきネットワーク清水 代表)
大塚謙一
大塚真知子

8. 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績など)

「スーパー型回収方式」は国内ではまだどこでも行われていない方式で、廃食油回収方式の新しいモデルとなりうると思われる。さらに、広範囲に顧客を持つスーパーと連合自治会等の広範な情報ネットワークの結合により回収効率の飛躍的な向上が期待される。

地域の状況に応じて、「スーパー型回収方式」、または「地域型回収方式」を取ることによって最適の選択が可能になると思われる。

協働パイロット事業 (H21) 見積書

団体名：静岡市地球温暖化対策地域協議会

企画のタイトル：	台所から始まるストップ温暖化 II —静岡市における廃食油回収・BDF 化仕組みのモデル作り事業—
----------	--

項 目	金 額	説 明
講師謝金	10,000	成果発表会、講師謝金 10,000 円
前年開始事業支援費 (交通費含)	17,000	4 箇所、延べ 17 人
事前調査費	16,800	4 箇所×各 2 回×3 名×700 円
スーパー型回収支援活動費	16,900	7 回×4 名×700 円
地域型回収支援活動費	37,800	3 箇所×6 回×3 名×700 円
器材費	100,000	のぼり旗 30 本、ポリタンク 20 個他
通信運搬費、	10,000	説明資料等送付
事務管理費、	19,000	文具類、コピー代、FAX 代など
消耗品費、	10,000	コピー用紙、インク代
小 計 A	237,500	
消費税 B = A × 0.05	11,875	
合 計 A + B	249,375	

◎ 実費弁償契約の希望の有無	有	✓無
----------------	---	----

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金 額	主な用途

企画提案の概要書

提案団体名	静岡市地球温暖化対策地域協議会
企画案のタイトル	台所から始まるストップ温暖化 II ー静岡市における廃食油回収・BDF 化仕組みのモデル作り事業ー
提案の要旨 (企画提案書の概要を 400 字以内でご記入下さい。)	<p>本会は、平成 20 年度に地球温暖化対策を目的とした廃食油回収事業を実施し、市内 4 地区(北安東、八坂北、高松、有度(スーパー型))で 560L の廃食油を回収した。</p> <p>また、昨年経験では、住民の廃食油回収へのニーズが高いこと。回収を実施した地区やスーパーマーケットは実施に好意的であること。広範囲に顧客を持つスーパーマーケットと連合自治会等の広範な情報ネットワークの結合により回収効率の飛躍的な向上が期待されること。廃油買取価格は低廉で、古紙回収等とは異なる回収モデルが必要であること等を知った。</p> <p>本年は、これらのノウハウを生かし、さらに回収拠点を増やして継続するとともに、市、BDF 製造企業との協働による全市的な廃食油回収を目指して、3 者の連携を深めることを試みる。</p>
金額	249,375 円